

強制収用断念「強く求める」

石木ダム チェック議員の会

県と佐世保市が川棚町で進める石木ダム計画で、超党派の国会議員でつくる「公共事業チェック議員の会」は18日、水没予定地の強制収用について「断念することを強く求める」とする声明を出した。

とを、県には「ダム事業自体を再考し、用地の収用を断念すること」をそれぞれ求めた。

(横山輝)

同会は現地視察や関係省庁からのヒアリングを重ねてきた。声明では「利水・治水の両面で、市民や議員の疑問に十分な回答がされていない」と指摘。事業費の一部を補助する国土交通省と厚生労働省に対しては「このような人権侵害が実行されないよう県と佐世保市を指導する」こ

とを、県には「ダム事業自体を再考し、用地の収用を断念すること」をそれぞれ求めた。